



保健だより

2023年 7月 認定こども園大津保育園 46-5811

梅雨が明けると暑い夏がやってきます。子ども達は、暑さの中でも夢中になって遊ぶので、こまめな水分補給を心がけましょう。そしてこの時期は、食中毒や熱中症が心配な時期です。しっかりと対策をしていきましょう。

夏の感染症について

夏にはいろいろな感染症が流行します。体調が悪くて、病院を受診する場合には、①感染症かどうか ②登園の可否 を必ず確認してください。

また、園の方にも受診をした結果のご連絡をお願いします。

子どもの三大夏風邪

夏に気を付けたい感染症。代表的な3つの症状。

• 手足口病

症状・・・水疱（手のひら、足の裏、口に中、お尻）、発熱

• ヘルパンギーナ

症状・・・突然の高熱、喉の痛み、口内炎、下痢、嘔吐

• プール熱（咽頭結膜炎）

アデノウイルスが原因で起こる感染症

症状・・・喉の痛み、目の充血、かゆみ、発熱

*これらはどれも“**接触感染**”と“**飛沫感染**”をする感染症です。

こまめな手洗い、うがいで予防しましょう。

気になる症状が見られたら、病院を受診してください。

熱中症について

・どんな時に起きやすい？

気温が高い時（場所）

湿度が高い時（場所）

*曇りや雨の日、雨上がりの翌日など蒸し暑い日は特に注意。

*同じ気温でも、湿度が高い時の方が熱中症になる確率が高い。

* 予防のポイント *

・日中は帽子をかぶって外出する。

・散歩や外遊びは、長時間に及ばないようにし、30分毎に日陰で休息をとる。

・肩まで隠れる吸湿性、吸水性に優れた衣服を選ぶ。

・水分補給は、一気に飲まず少しずつ飲む。

〈食中毒に注意!!〉

高温多湿な時期に起こりやすい食中毒。

食後に嘔吐、下痢、腹痛、発熱がある場合は、病院を受診しましょう。食中毒は《**つけない**》《**増やさない**》《**退治する**》が原則です。食事前の手洗い、食器・調理器具類を清潔に保つようにしましょう。

園で預かる薬について

風邪薬など園で服用する薬ですが、以前に処方された薬は症状や副作用などの心配があるため、服用させることはできません。風邪をひいたら受診をし処方された薬のみ服用させますので、ご協力お願いします。